令和６年４月１日

令和６年度　東京都立大島高等学校（定時制）学校経営計画

東京都立大島高等学校長
佐々木　一憲

１　目指す学校

本校は昭和 19 年東京都大島六か村組合大島農林学校として創立され、昨年度創立 80 周年の節目を迎えた。次の 90 周年に向け、伝統を受け継ぎながら将来の大島を支える人材を育成する学校を目指す。

（１）スクール・ミッション

「綱領五訓に基づき、郷土を敬愛し、自己の尊厳を覚り、真理を究明し、誠実をもって事を達成し、常に健康かつ明朗で勤労を貴ぶ人材を育成する」を教育目標とし、基礎学力の定着と発展、海外交流、実習や地域との連携といった教育活動を通じて、国内外に目を向け主体的に学び続ける人間性・社会性の豊かな生徒を育成する。

（２）教育目標

ア　誠実　　誠実で豊かな人間性をもつ知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。
イ　敬愛　　郷土を愛し、誇りをもってその良さを世界に発信できる人間を育成する。
ウ　勇気　　勇気と行動力をもって困難に立ち向かうことのできる逞しい人間を育成する。
エ　自尊　　自己を信じ何事にも前向きに取り組むことのできる人間を育成する。
オ　自主　　自ら考え判断し行動できる自主性と創造力をもち、自立及び自律できる人間を育成する。

（３）スクール・ポリシー

ア　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
本校では卒業までにこのような力を育成する。
（ア）様々な問題に対して、情報を集め、学び、考え、自ら判断して目標を定め解決していく力を育成する。
～自ら判断する「自主」、問題を解決していく「勇気」～
（イ）基本的生活習慣と社会人としてのマナーを身に着け、自分を信じて自律的に行動できる力を育成する。
～自分を信じる「自尊」～
（ウ）豊かな人間性を身につけ、他者と良好な人間関係を築き、協働することができる人材の育成を図る。
～豊かな人間性「誠実」、他者と協働する「敬愛」～

イ　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
グラデュエーション・ポリシーの三観点の達成に向けて、「問題解決力」、「自律的行動力」、「人間関係形成力」の育成を軸におき、「知識・技能」、「読解力」、「表現力」、「情報活用力」、「基本的生活習慣」、「規範意識」、「コミュニケーション能力」、「社会貢献」の８分野について、育成のための組織的な教育活動を展開する。具体的に、教科の横断化を図った授業、学級経営、キャリア教育・進路指導、特別活動等に関する教育活動を体系的かつ横断的に編成し、地域の人材活用や関係機関との連携を図り、ＩＣＴ機器を積極的に活用した、講義、演習、実習等を適切に組合せた教育活動を行う。
（ア）基礎学力の充実を土台に据え、思考力・判断力・表現力と主体的に学ぶ姿勢を身につけることができる授業を実施する。
（イ）体力を向上させるなど心身を鍛え、困難にもくじけないしなやかな不屈の精神を養うことのできる特別活動等を展開する。
（ウ）学校への適応を確実にするため、小さな集団における活動や体験を重視し、少人数を活かしたきめ細やかで、個に応じた授業及び学級経営を実践する。
（エ）外部の人材を活用した進路指導を一層充実させ、職業観及び勤労観を育成するキャリア教育を展開して、進路実績の向上を図る。

（オ）校内研修を活性化させ、授業力を高め合い、共通理解のもと一丸となって課題解決に当たることができる体制を構築する。
（カ）学校評価を活かして、カリキュラム・マネジメントに基づいて不断の検証と改善に努める。

ウ　アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

本校は令和5年度に創立80年を迎えた伝統校である。本校のグラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを理解し、島しょの恵まれた自然と郷土文化、広大な敷地、教育に積極的な地域社会などの環境を生かした活動について興味をもち、意欲的に活動のできる生徒を求める。

（ア）年齢を問わず、学ぼうとする意欲をもち、少人数で関わりの強い環境で学校行事・生徒会活動など様々な活動に対して、皆で協力して参加することができる生徒
（イ）人を思いやることができ、優しさをもって礼儀正しく接することを実践しようとする生徒
（ウ）広く社会のことを知り、将来の進路を実現しようとする生徒
（エ）挨拶がきちんとでき、時間とルールを守ることのできる生徒

2　中期的目標と方策

（1）中期的目標

ア　基礎・基本を重視し、個々の生徒の状況を常に把握して学力スタンダードを基に基礎学力を確実に定着させる授業を計画的に行うとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、アクティブ・ラーニングを組み入れた学習指導の充実を図ることにより学力の向上を図る。【学力向上】
イ　キャリア教育・道徳教育を推進し、一人一人の進路を実現できる教育を行う。【人生開拓力向上】
ウ　人間尊重の精神を重視した教育を実践し、しなやかで折れない心（レジリエンス）をもって、自他の生命を尊重する心を育み、心身ともに健康な生徒を育成する安全・安心な学校づくりを進めることにより、いじめ・暴力行為・体罰を根絶する。【五訓探究】
エ　生徒の自主的な活動を支援し、郷土の自然や文化に接する機会を多く取り入れるとともに、地域との連携を深める教育活動・社会貢献活動を行うことにより、地域に根ざした自主的な社会貢献のできる生徒を育成する。【社会貢献力】
オ　生徒一人ひとりが主体的に取り組んで体力の向上を図れるような学校行事を企画する。【体力向上】
カ　特別な支援を必要とする生徒に、個々に応じた特別な対応のできる支援体制づくりを図る。【特別支援】
キ　社会や世界の動きを見通しグローバルな視野を高める英語活動を計画･実施する。【国際理解】東京グローバル人材育成計画
ク　効率的な学校運営を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。

（2）中期的目標を達成するための方策

ア　島しょの特性を活かすとともに、生徒の興味関心に応じた柔軟な教育課程を編成する。生徒の個々の学力を踏まえてわかる授業を計画し、基礎学力が定着するように、校内研修をとおして授業改善に取り組む。アクティブ･ラーニングの視点に立った授業やＳＤＧｓ達成に向けたＥＳＤを推進し､言語活動の充実やコミュニケーション能力の向上を目指す。読書活動、図書館の活用を積極的に推進する。（学習指導・言語活動）
イ　教育活動全体を通じて実施するキャリア教育・道徳教育の充実に積極的に取り組む。働くことの意義と喜びを理解させ､将来に夢を持ちその夢を叶えることのできる力を養う教育を行う。（キャリア教育･進路指導）
ウ　安全に関わる取組を充実させ、講演会や体験的な行事をとおして、生命を尊重する健全な精神を育む。また、大島の自然や文化に触れ、環境や地域活性を目指す学校行事・特別活動を推進する。（特別活動）
エ　いじめ対策委員会並びにいじめサポートチームを活かし､いじめを許さない集団づくりと､「SOS の出し方に関する教育」「人権教育」を行い、いじめ・暴力行為・体罰０を継続する体制を維持する。（生活指導、いじめ対策、自殺対策基本法）
オ　地域の教育力を活かした授業や授業公開をとおして地域との連携を深めるとともに、ホームページや「定時制便り」等により学校の情報を広く地域に発信する。（社会貢献）
カ　体育授業、体育的行事を計画的に設定し、生徒の体力向上に努める。（体力向上）
キ　日頃からの情報交換をとおして全教員で生徒の状況を把握し、特別な支援の必要な生徒に対しては個別指導計画を立て組織的に生徒を指導する校内体制を確立する。（特別支援）
ク　地域産業、観光業との関わりを通じて自分たちの生活の場を理解し、地域貢献に努めることをとおして国

際理解の基礎的素養を育成する。(国際理解)

ケ　学校組織の不断の見直しと改善及び意識改革により、教職員の働く環境を整備し、生徒の教育環境の向上を目指す。(ライフ・ワーク・バランス)

3　今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア　『学習指導』　個別最適な学びの構築をとおして基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。

(ア) 各教科の年間授業計画及び評価・評定基準を生徒及び家庭に周知する。各教科は年間授業計画に達成目標を明確に示し、定期考査等の結果を踏まえて授業改善・工夫につなげる。授業者は、生徒とのコミュニケーションと柔軟性、教科経営のセンスを高める研鑽に努める。

(イ) シラバスをホームページに公開し、誰もがいつでも参観できる開かれた授業を実施するとともに、教員相互の授業見学、他校での参観、指導教諭の模範授業等(オンラインイン含む)を年間２回以上実施する。

(ウ) 教室等の授業環境及び機能を充実させ、授業時数確保を前提に、人間関係重視の授業を構築するとともに、ＩＣＴ機器を効果的に活用して「わかる授業」に向けた取組を進める。

(エ) アクティブ・ラーニング並びにユニバーサルデザインの視点に立った学習の充実を図るとともに、協働的な学びの推進など生徒の人間関係を重視した授業及び構成的グループエンカウンターによる教育実践等を推進する。

(オ) 教室環境を整えさせ、教室内の整理整頓を徹底するとともに、４５分間の授業を大切にし、チャイムと同時に授業が展開できる態勢を継続する。

(カ) １ 人 １ 台端末の導入に対応し効果的に活用することで、個別最適かつ協働的な学びの充実を実現する。

(キ) 年間授業計画の評価計画に基づき、観点別評価を適切に実施する。

(ク) 作品発表や学習発表を促進し、探究能力や表現能力・プレゼンテーション能力を育む。補習・補講や個別指導を充実させて、生徒個々の進路希望を実現する。

(ケ) 総合的な探究の時間では、特色ある学習課題を提供して、生徒の学習に対する興味関心を引き出す。

イ　『進路指導』　生徒の自己理解を進め、希望する進路実現を支援する。

(ア) ４ないし３年間を見とおしたキャリア教育全体計画をもとに、進路指導を組織的に実施する。

(イ) 担任だけでなく、すべての教員が生徒に対して高い目標を最後まであきらめずに挑戦させる指導を徹底する。

(ウ) 毎学期に生徒との面談を実施し、生徒の情報を共有して指導に当たる。

(エ) ハローワークと連携したキャリアガイダンスや進路講演会を実施し、進路実現に向けた意識を高める。

(オ) ＩＣＴ機器の利活用及びＰＣのスキル向上により、自ら希望する企業や学校の情報を主体的に収集できるようにするとともに、進路先での機器活用能力に不自由がないようにする。

(カ) 進路に応じて面接指導、特別講習・補習・個別指導、小論文指導等を行い、進路実現を図る。

(キ) 在学中の就労を積極的に勧め、望ましい勤労観や職業観を身につけさせる。

ウ　『生活指導』　社会性を培い、自主性を尊重するとともに、自律の態度を養い、規律ある生活習慣の育成を目指す。

(ア) 生活指導部だけでなく、すべての教員が日常生活や行事等で必要な役割を担い、指導の実践を図る。

(イ) 基本的生活習慣の確立を目指して、授業開始時には着席する等の時間厳守を意識した指導を推進する。

(ウ) 社会人の一員としてのマナーや態度、規範意識の向上に努める。

(エ) セーフティ教室や講演会により、心と体の健康や安全教育を推進し、他者と向き合うことによる自他の尊重を基調にする教育活動により、生命尊重の姿勢を育てる。

エ　『特別活動・部活動・社会貢献』　学校行事、部活動、社会貢献に積極的に参加する態度を育てる。

(ア) 日常の授業や関連する学校行事等を通じて、学校や地域への所属感を醸成する。

(イ) 生徒一人ひとりの持ち味を活かして出番をつくる学校行事を充実させる。

(ウ) 特別活動や部活動をとおし、責任感や連帯感の涵養を図るとともに、生徒の自主性や自律性を育てる。

(エ) 部活動においては、適切な達成目標を設定させ、年間指導計画に基づいた活動を積極的に支援する。

(オ) 大島の自然を体感できる体験的な行事を充実させる。加えて奉仕活動をとおして、思いやりや規範意識を育成するとともに生徒の社会貢献への取組を促進する。

（カ）生徒会活動や部活動を活性化し、生徒の地域行事参加や地域貢献活動につなげる。

オ　『健康・安全』　教育相談体制等を整備し、生徒の心身の悩みに積極的に応じる。安全の確保と事故防止の徹底を図る。

（ア）教育相談担当教員を中心に組織的な相談体制を充実させる。困難をしなやかに乗り越え回復する力レジリエンスの育成を目指した教育活動の展開により、自己肯定感を育む。

（イ）スクールカウンセラー及び外部機関とも連携し生徒の心の悩みに応える学校体制づくりを目指す。

（ウ）体育授業、体力測定、球技大会、部活動等を計画的に実施し、生徒の体力向上を図る。（TOKYO ACTIVE PLAN for students）

（エ）健康と健全な食生活の実現のため、給食指導を中心として食文化の継承と自立支援のための食育を推進する。

（オ）地域と連携して様々な設定の避難訓練を計画的に実施する。救命機器等の実技指導により、生徒の危機対応能力を育成する。防災訓練の充実により、三原山の噴火及び豪雨や台風シーズンにおける避難所対応や緊急事態の準備に万全を期す。

カ　『広報・募集活動』　保護者や地域に積極的に教育活動を公開し評価をあおぐ。島外からの応募者増のための広報活動を充実させる。

（ア）定時制新入生の確保に向けた三修制や自立をキーワードにして、募集活動を強化しあらゆる機会で行う。

（イ）「広報おおしま」や「定時制便り」等により情報発信を行い、本校定時制に対する興味関心を高める。

（ウ）公開講座や授業公開週間、給食試食会等で、開かれた定時制教育、島内のセーフティネットであることをアピールする。町の自立支援団体パレット、ロケットと連携する。

（エ）ホームページを随時更新し、本校の特色ある教育活動を都民に発信していく。

（オ）学校案内パンフレット、ポスターには新しい情報を掲載し、工夫して都内の多くの中学校へ配布する。

（カ）個々の能力に合わせた教科指導の実践及び「三修制」の特色を情報発信して生徒募集を行う。

キ　『学校運営』　常に前向きに、生徒・都民の立場に立ち、学校運営の改善を図る。

（ア）学校運営連絡協議会の学校評価などを基に、全校的な学校運営の改善を推進する。

（イ）「三修制」の条件整備を推進し、生徒の選択肢が増えるようにする。

（ウ）一人一台端末や統合型校務支援システムはじめとしたシステム導入に伴い、校務の効率化と情報セキュリテイの強化を図るとともに TOKY0 スマート･スクール プロジェクトにおけるデジタル技術を活用した教育の推進と個人情報の管理を徹底する。

（エ）教員個々の専門性を高めるとともに、外部専門家の教育力を活用する。

（オ）避難者用駐車場の運営・管理と老朽化の進む校舎の改築、他施設の改修・整備を推進する。

（カ）地域と連携した教育活動を組織的に行う。

（キ）自律経営予算を有効かつ適正に執行する。また、私費会計における計画・徴収・執行・清算の適正化を図る。

（ク）学校経営計画、予算編成方針に基づいた自律経営推進予算の管理と執行をとおして、教育効果が最大限に効果的に発揮できるように努めさせることにより、学校経営参画の意識を高揚させる。

（ケ）教え育てることに喜びを感じることができるような環境を整え、教員としての実力をさらに伸ばすことができる職場を全組織員で築き上げる。

（コ）閉庁日や定時退庁日の設定、夏季休暇消化などライフ･ワーク･バランスを踏まえた働き方改革を進める。

（2）　本年度の数値目標

ア「入学満足度」　肯定評価８５％以上（令和5年度実績　生徒１００％･保護者１００％）

イ「授業内容理解に対する生徒肯定率」　肯定評価９０％以上（令和5年度実績　生徒１００％）

ウ　学びあいやｱｸﾃｨﾌﾞ･ﾗｰﾆﾝｸﾞの視点に立った授業実践の割合　肯定評価１００％（令和5年度実績　１００％）

エ　読書率　８０％（令和5年度実績　１００％）

オ　進路決定率　１００％（令和5年度実績　９４％）

カ　検定･資格･コンクール等へのチャレンジ割合　全生徒延べ７５％以上（令和５年度実績　８９％）

キ　教員相互の授業見学､他校､指導教諭の模範授業等　１人年間２回以上（令和５年度実績　８５％）

ク　ホームページの更新　年間２５０回以上（令和５年度実績　１６１回）